

# 「チーム学校」による食育の推進

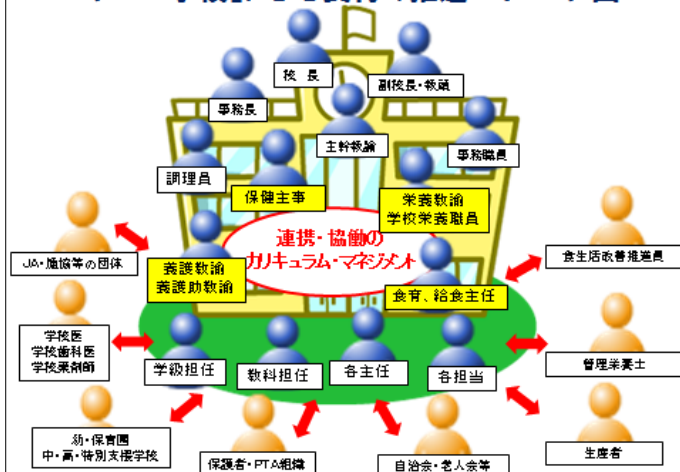
～全国学校給食研究協議大会熊本大会に向けて「チームくまもと」始動～  
**体育保健課**

子供たちを取り巻く「食」に関する課題が、複雑化・多様化している中、平成29年3月に文部科学省から「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育」が示されました。これを受け熊本県では、これまでの食育に関する様々な取組の成果を活用しながら「『チーム学校』による食育の推進」を目指します。

これまで、栄養教諭・学校栄養職員は、その専門性を生かして、教職員はもとより、関係機関・専門家、家庭、地域と連携を図りつつ、子供たちの望ましい食習慣の形成に取り組んできました。しかし、生活習慣・食生活の乱れ、アレルギー疾患等への対応、肥満・痩身傾向など、子供た



「チーム学校」による食育の推進 イメージ図



ちが抱える課題はさらに多様化し、その解決には、組織での対応が不可欠となっています。これからの学校においては、教職員に加え、多様な人材がそれぞれの専門性に応じて学校運営に参画し、チームとしての学校の力を向上させることが求められています。本県におきましては、「カリキュラム・マネジメント」をキーワードに、栄養教諭・学校栄養職員と保健主事、養護教諭等との連携・協働の重要性を啓発しています。

8月9日に「平成29年度熊本県栄養教諭・学校栄養職員研究会夏期研修会」が開催されました。「私たちに求められる食育・学校給食の方向性」として、学習指導要領改訂をふまえた食育の進め方や、主体的・対話的で深い学びを意識した食に関する指導など、最新の教育情報を取り入れながら、衛生・栄養管理と食に関する指導の一体化を図る、専門性向上の学びの場となりました。

平成32年度には、全国学校給食研究協議大会が、熊本県で開催される予定です。今後は、各学校での取組を「チームくまもと」の実践につなげ、全国に発信できるよう取り組んでいきます。



**平成32年秋「全国学校給食研究協議大会熊本大会」開催予定**